



国立研究開発法人
水産研究・教育機構

プレスリリース

2025年6月20日

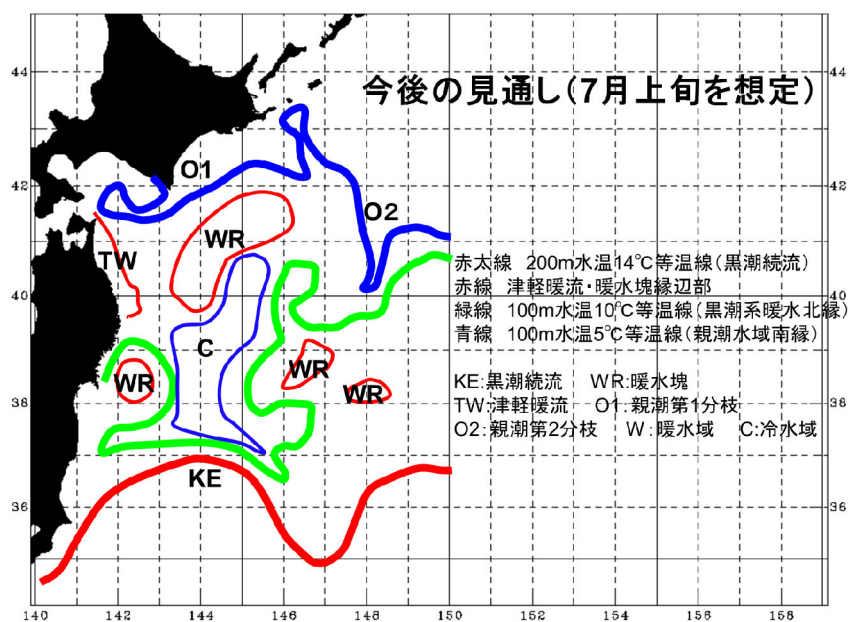
国立研究開発法人 水産研究・教育機構

2025年度 第2回 東北海区海況予報

— 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産資源研究所がとりまとめた結果 —

今後の見通し(2025年6月下旬～2025年7月上旬)のポイント

- ・ 近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移する。
- ・ 親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏で推移する。
- ・ 釧路沖の暖水塊と三陸近海の暖水塊は結合し、
金華山沖、三陸沖、金華山はるか沖に暖水塊が新たに形成される。



問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構

担当：海洋環境部（釧路） 清水、東屋

電話：0154-91-9136、ファックス：0154-91-9355

当資料のホームページ掲載先URL

<https://www.fra.go.jp/home/kenkyushokai/press/>

2025年度第2回東北海区海況予報

《今後の見通し（2025年6月下旬～2025年7月上旬）》

近海の黒潮続流の北限位置はやや北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しはかなり北偏で推移する。釧路沖の暖水塊と三陸近海の暖水塊は結合し、金華山沖、三陸沖、金華山はるか沖に暖水塊が新たに形成される。

《海況の経過（2025年4月～2025年5月下旬）の特徴》

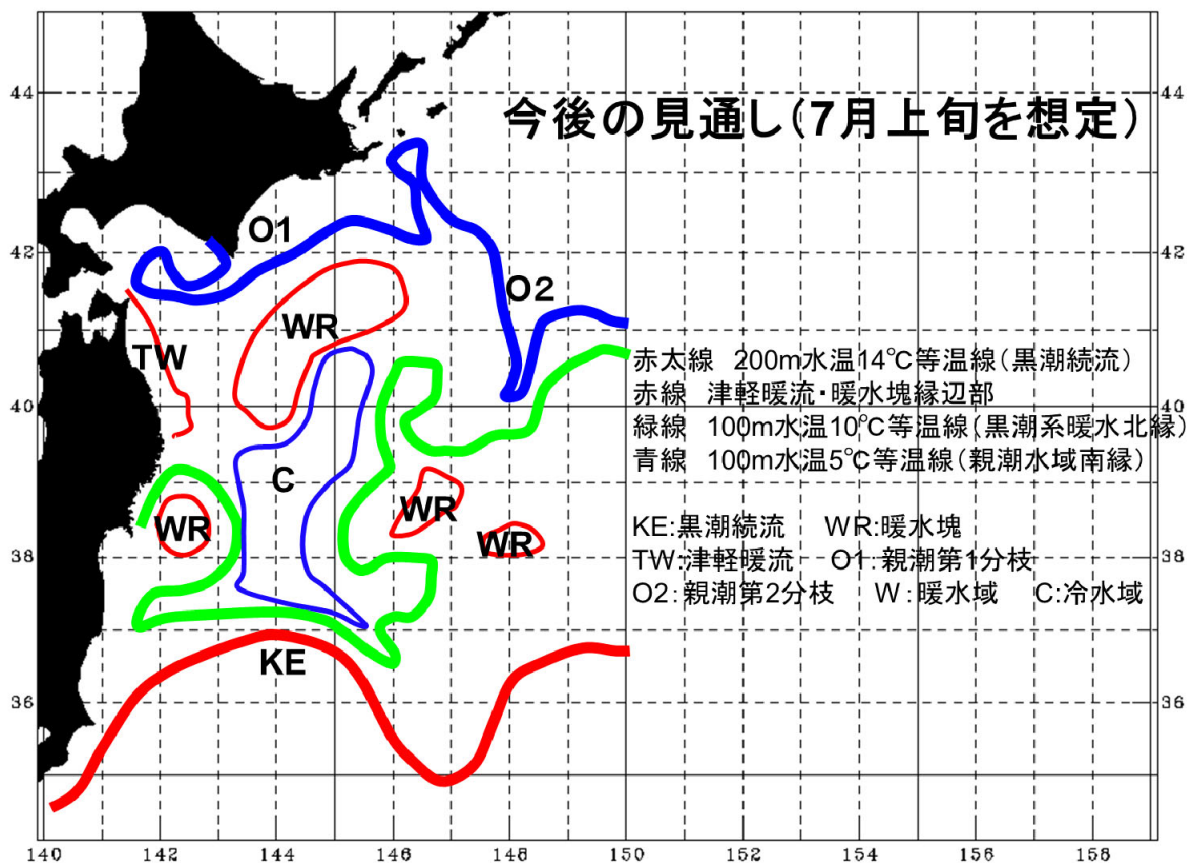
近海の黒潮続流の北限位置は平年並み～かなり北偏で推移し、親潮第1分枝の張り出しは平年並み～かなり南偏で推移した。釧路沖の暖水塊は停滞した。三陸沖の暖水塊は西進した。

《現況（2025年6月上旬）の特徴》

近海の黒潮続流の北限位置はかなり北偏、親潮第1分枝の張り出しは平年並みである。暖水塊が釧路沖、三陸近海にある。

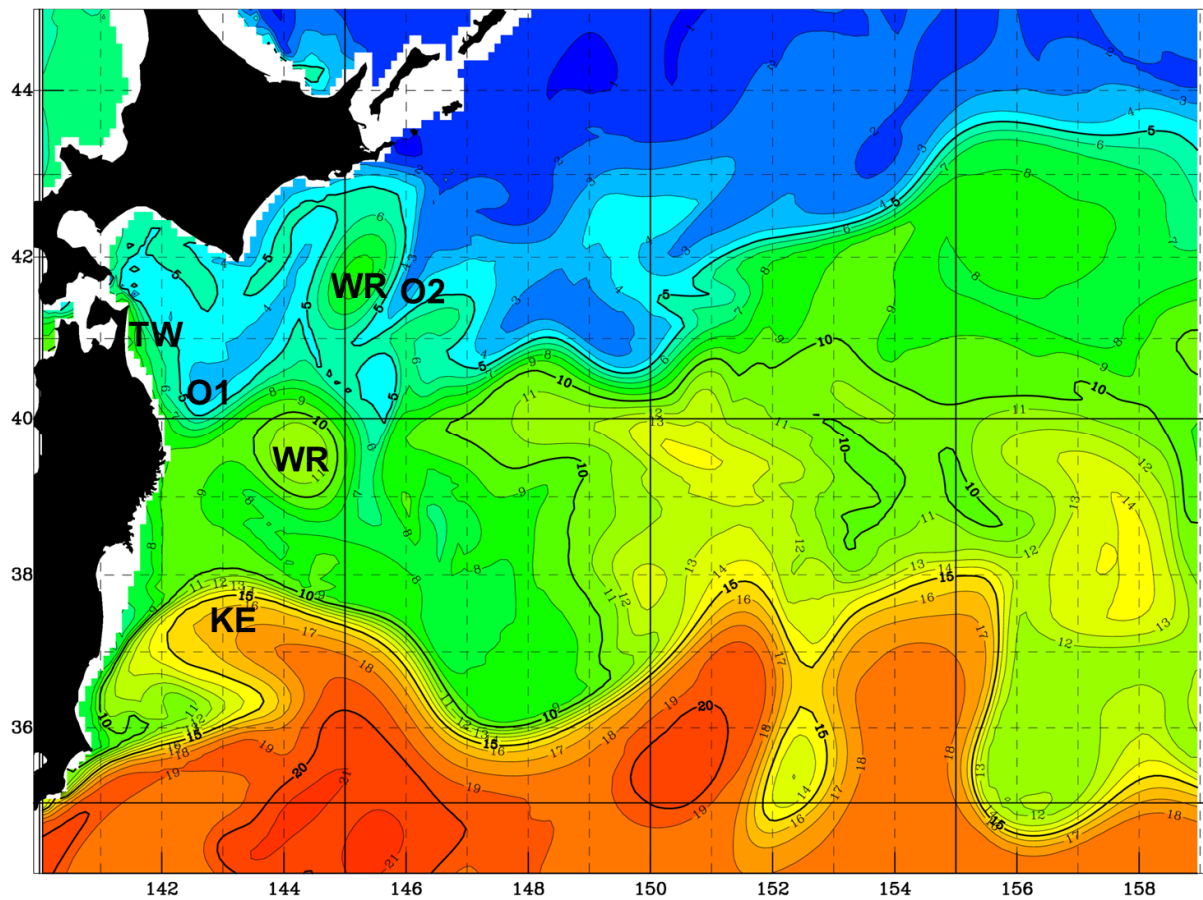
（注）この海況予報は、国立研究開発法人水産研究・教育機構により開発され、2022年3月より運用を開始したFRA-ROMSⅡシステムを用いた。FRA-ROMSⅡは、我が国周辺海域の海況経過を再解析し、2ヶ月先までの海況を予測する海況予測システムである。

7月上旬予測水温分布図



6月上旬現況水温分布図（100m深）

TEMPERATURE AT 100m DATE: 2025/0601 - 2025/0607



図中の記号はそれぞれ01が親潮第1分枝、02が親潮第2分枝、KEが黒潮続流、TWが津軽暖流、WRが暖水塊、Cが冷水域を表している。

参 画 機 関

地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	(取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所
岩手県水産技術センター	
宮城県水産技術総合センター	
福島県水産海洋研究センター	
茨城県水産試験場	